

地域退院群と残留群の比較

本項では、患者時点調査における「調査 B 退院後の治療形態」の項目で、「1.退院して当院(サテライトクリニックを含む)に通院」もしくは「2.退院して他院通院」と回答があったものを「地域退院群」それ以外を「残留群」とみなし、その2群の重症度と提供された治療を比較した結果を示す。

図表 78 ベースライン時の BPRS の比較

	地域退院群 (N=286)		残留群 (N=20)		Z	p
	平均	SD	平均	SD		
BPRS1. 心気症	2.78	1.65	2.50	1.70	-0.84	0.399
BPRS2. 不安	3.94	1.55	3.95	1.61	-0.11	0.913
BPRS3. 情動的引きこもり	3.02	1.65	3.50	1.70	-1.35	0.177
BPRS4. 概念の統合障害	3.19	1.87	3.30	2.00	-0.18	0.855
BPRS5. 罪責感	2.28	1.45	1.70	0.86	-1.52	0.127
BPRS6. 緊張	3.21	1.60	3.00	1.34	-0.54	0.589
BPRS7. 衝動性と不自然な姿勢	2.28	1.67	2.45	1.54	-0.66	0.506
BPRS8. 誇大性	1.67	1.32	1.95	1.00	-2.50	0.013 *
BPRS9. 抑うつ気分	2.91	1.68	2.75	1.62	-0.41	0.682
BPRS10. 敵意	2.43	1.69	2.70	1.30	-1.28	0.199
BPRS11. 猜疑心	2.71	1.81	2.95	1.64	-0.77	0.439
BPRS12. 幻覚による行動	2.66	2.04	2.60	1.93	-0.12	0.908
BPRS13. 運動減退	2.47	1.48	2.50	1.50	-0.08	0.939
BPRS14. 非協調性	2.60	1.73	2.40	1.14	-0.22	0.829
BPRS15. 不自然な思考内容	2.96	1.97	3.15	2.06	-0.55	0.585
BPRS16. 情動の平板化	2.25	1.48	2.95	2.11	-1.18	0.238
BPRS17. 興奮	2.90	1.92	2.60	1.70	-0.53	0.594
BPRS18. 失見当識	1.62	1.31	2.00	1.78	-0.98	0.326

Mann-Whitney 検定

図表 79 3ヶ月時点のBPRSの比較

	地域退院群 (N=286)		残留群 (N=20)		Z	p
	平均	SD	平均	SD		
BPRS1.心気症	2.15	1.16	2.55	1.47	-1.10	0.270
BPRS2.不安	2.79	1.18	3.00	1.41	-0.77	0.444
BPRS3.情動的引きこもり	2.32	1.29	2.95	1.82	-1.39	0.164
BPRS4.概念の統合障害	2.08	1.22	2.85	1.90	-1.56	0.119
BPRS5.罪真感	1.63	0.91	1.75	0.85	-0.96	0.336
BPRS6.緊張	2.06	1.06	2.65	1.31	-2.09	0.036 *
BPRS7.衝動性や不自然な姿勢	1.52	0.92	2.15	1.46	-2.16	0.031 *
BPRS8.誇大性	1.31	0.74	1.80	1.06	-2.84	0.004 **
BPRS9.抑うつ気分	2.02	1.13	2.15	1.23	-0.41	0.683
BPRS10.敵意	1.55	0.99	1.90	1.17	-1.81	0.070
BPRS11.猜疑心	1.78	1.19	2.10	1.29	-1.29	0.197
BPRS12.幻覚による行動	1.61	1.11	1.90	1.52	-0.66	0.511
BPRS13.運動減退	1.88	1.04	2.50	1.79	-1.11	0.266
BPRS14.非協調性	1.79	1.14	2.30	1.45	-1.59	0.112
BPRS15.不自然な思考内容	1.91	1.21	2.65	2.03	-1.36	0.175
BPRS16.情動の平板化	1.82	1.02	2.65	1.76	-2.04	0.042 *
BPRS17.興奮	1.56	0.99	1.60	0.99	-0.05	0.961
BPRS18.失見当識	1.26	0.71	1.35	0.67	-1.12	0.263

Mann-Whitney 検定

図表 80 実施された治療の比較

	地域退院群 (N=286)		残留群 (N=20)		χ ²	p
	実施ケース数	%	実施ケース数	%		
(1)m-ECTについてお答えください	8	2.8%	0	0.0%	0.57	0.448
(2)クロザピンの使用	3	1.0%	0	0.0%	0.21	0.645
1.個人精神療法	203	71.0%	15	75.0%	0.15	0.701
2.認知行動療法(CBT)	1	0.3%	0	0.0%	0.07	0.791
3.行動療法	5	1.7%	0	0.0%	0.36	0.551
4.作業療法	164	57.3%	6	30.0%	5.66	0.017 *
5.集団精神療法	19	6.6%	1	5.0%	0.08	0.774
6.心理教育	34	11.9%	2	10.0%	0.06	0.800
7.社会生活技能訓練(SST)(退院準備プログラム等	5	1.7%	0	0.0%	0.36	0.551
8.社会生活技能訓練(SST)(上記7以外のSST)	4	1.4%	0	0.0%	0.28	0.594
9.退院前訪問指導	25	8.7%	2	10.0%	0.04	0.848
10.服薬管理指導	60	21.0%	3	15.0%	0.41	0.523
11.連絡調整会議	65	22.7%	1	5.0%	3.47	0.062
12.ケア会議	33	11.5%	1	5.0%	0.81	0.368
13.障害福祉サービスの導入	30	10.5%	1	5.0%	0.62	0.432
14.介護福祉サービスの導入	4	1.4%	0	0.0%	0.28	0.594

Chi-square 検定

分担研究報告書

分担研究報告書

分担研究者：河崎建人

公益法人日本精神科病院協会

平成26年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）
「精神障害者の重症度判定及び重症患者の治療体制等に関する研究」
分担研究報告書

精神科病院協会傘下の精神科病院における重症患者の調査研究
ICF国際生活機能分類の短縮版作成の試み

分担研究者

河崎建人（水間病院、日本精神科病院協会）

研究協力者

千葉潜（青南病院、日本精神科病院協会）

櫻木章司（桜木病院、日本精神科病院協会）

杉山直也（沼津中央病院、日本精神科病院協会）

田口真源（大垣病院、日本精神科病院協会）

鋤柄増根（名古屋市立大学人文社会学部人間学科）

川口英明（東京大学大学院医学系研究科社会医学専攻医療情報経済学分野博士課程）

国際生活機能分類（ICF）の重度かつ慢性の患者への有用性

日本精神科病院協会（以下日精協）では平成24年度厚生労働省障害総合福祉推進事業指定番号28番「高齢精神障害者の退院支援の推進に関する調査について」（以下28番事業と略）を委託され、入院中の認知症を除く65歳以上の5年以上在院の高齢精神障害者と一年以内に退院できた5年以上在院の高齢精神障害者の実態を広く調査することにより、全国的に長期在院患者と退院できた患者の傾向を明らかにすることができた。さらにこのなかで14の協力病院をつのり、52名の長期在院患者について、2001年世界保健機関（WHO）が作成した国際生活機能分類（International Classification of Functioning, Disability and Health：以下ICF）日本語版を用いて生活機能（障害）を評価し、クラスター分析によってICFが「重度かつ慢性」の患者の状態像を抽出や経過を追った評価のツールとして有用であることを示した。

昨年の分担研究での後ろ向き調査

日本精神科病院協会の会員病院に対して主任研究班で行った調査に加えてICFの調査を依頼した。調査の対象は認知症を除く入院患者のうち、①入院期間が1年～1年2か月になる群5名（以下OLSN）、②入院期間が5年の患者のうち在院期間順に5名（以下OLSM）、③最も長期となる患者から在院期間順に5名（以下OLSS）の3群を抽出して調査することを依頼した。会員病院、299病院から回答を得た。内訳はOLSN群が443名、OLSM群が1,022名、OLSS群が841名の計2,306名であった。

ICFの問題点と昨年のデータ

ICFは膨大な項目の評価を必要としており、28番事業においてもその煩雑さが指摘されている。14の協力病院に問い合わせたところ、1症例を完成させるのに1～2時間の時間を要する。日常業務の中でこれだけの時間を割くことは現実的とは言えず、実際の運用には必要な項目に絞った簡易版の必要があると考えられ、28番事業の中においてもクラスター解析でスコアの低いものを省略して簡略版を提案した。しかし、①52名とサンプル数が少ない。②作成した簡易版で再度クラスター分析を行ったところ、異なる結果となった。これはサンプル数が少ないことが原因と考えられた。③研究対象自体がOLSS群のみであり、対象が特殊である。④点数が低いことに意味がある可能性がある。⑤省略する項目の選択は研究協力者ひとりの判断であり、客観性の担保について手法的に課題が残る。などの問題点が残った。

昨年の分担研究の対象は前述のように内訳はOLSN群が443名、OLSM群が1,024名、OLSS群が841名の計2,306名であったので、サンプル数としては十分な規模と考えられ、①、②はクリアできたと思われた。今回はOLSS群だけでなく、OLSN群、OLSM群も加え、③についても問題ない。④、⑤の方法論的問題を克服するため、統計手法を見直した。第一段階として、各カテゴリーに属するすべての項目について因子分析を実施し、因子付加量の高い項目から短縮版に採用するという機械的な方法をとった。まず、項目が半分になるように因子付加量の大きいものから半分の項目を採用した短縮版 [Short (Half)] をまず作成した。各項目間に.90前後の相関係数があって、短縮版としての妥当性を確認したうえ(表1、2)、研究協力者の一人が所属する病院(大垣病院)で10名に対し、予備的に試行し、短縮版 [Short (Half)] 所要時間を調査した。評価者はICF評価を行うのは初めての病棟主任以上の管理職看護職員である。その結果、平均の所要時間は50分であり、さらなる簡便化の必要があると思われた。10名の評価者の意見を聴取したところ、30分程度であれば業務に大きな影響が出ず、使いやすいものになるという結論に達した。ICFの構造は評価の対象となる、I～IVと個人因子を記録するVがある。所要時間50分の内訳はVに10分、I～IVに40分というものであった。Vの個人因子は初回登録時のみ必要とするものである。このため、初回40分、2回目以降30分を目途とするためさらに項目数を短縮版 [Short (Half)] の4/5にした短縮版 [Short (4/5)] と初回30分をめざす短縮版 [Short (Half)] の項目数3/5とした短縮版 [Short (3/5)] を作成した。これらについてもこの二つの版についても各項目間に.90前後の相関係数があって、短縮版としての妥当性が確認された(表1、2)。なお、短縮版を作成するに当たり、項目が3項目以下にならないようにした。これは、信頼性は項目数が少なくなると低下することと、一般に尺度作成では最低でも3項目程度で構成することが推奨されることによっている。

短縮版 [Short (4/5)] と短縮版 [Short (3/5)] ソフト

日精協では28番事業でICFの評価し、簡易精神症状評価尺度(Brief Psychiatric Rating

Scale : 以下BPRS)とともに視覚化できるソフトを開発した。前年の分担研究や短縮版作成にあたっての予備的調査にも利用している。これはマイクロソフト社のエクセルをベースにしており、各項目をクリックすると、その項目に関するICF日本語版の説明が現れ、評価者はマニュアルを見なくてもそれにそって評価を行うことができる仕組みになっている。今回も同様の短縮版 [Short (4/5)] と短縮版 [Short (3/5)] に対しても同様のソフトを開発したので、巻末に添付する。

ICF 短縮版作成手順および短縮版の信頼性と完全版図の間の相関

短縮版はカテゴリーごとに作成する。まず各カテゴリーに属するすべての項目について因子分析を実施し、因子付加量の高い項目から短縮版に採用するという機械的な方法をとった。まず、項目が半分になるように因子付加量の大きいものから半分の項目を採用した短縮版 [Short(Half)] をまず作成した。実際に実施したところ 50 分程度の実施時間であったため、さらに短い時間で実施できるように半分を採用した短縮版の項目をさらに減らすことにした。Short (Half) の項目数を、30 分の実施時間とするために 3/5 にした短縮版 [Short (3/5)] と、40 分の実施時間とするために 4/5 にした短縮版 [Short (4/5)] の 2 つをさらに作成した。完全版(Full)と各短縮版の信頼性(Cronbach's α)をまとめたものが表 1 である。いずれの版も、.90 を十分超えていることから、どの短縮版でも十分な信頼性が得られたといえる。また、表 2 は完全版と各短縮版の得点間の相関である。こちらも.90 前後の相関係数(いずれも統計的に有意な相関である)を持っていることから、いずれの短縮版も完全版の代替となりうることを示している。

なお、短縮版を作成するに当たり、項目が 3 項目以下にならないようにした。これは、信頼性は項目数が少なくなると低下することと、一般に尺度作成では最低でも 3 項目程度で構成することが推奨されることによっている。

実際に使用された項目は、表 1 にある項目数だけ上から順に付表に示される項目を参照すればわかる。

表1 カテゴリーごとの完全版と短縮版の信頼性と使用項目数

Category	Cronbach α and Number of Items							
	Full		Short (Half)		Short (3/5)		Short (4/5)	
b100	.972	22	.965	11	.943	6	.952	8
b200	.967	18	.958	9	.955	5	.955	7
b300	.963	6	.964	3	.964	3	.964	3
b400	.962	16	.962	8	.954	4	.964	6
b500	.945	14	.946	7	.956	4	.938	5
b600	.947	11	.965	5	.989	3	.971	4
b700	.984	17	.974	8	.957	5	.965	6
b800	.963	10	.950	5	.922	3	.940	4
d100-1	.988	21	.987	10	.982	6	.984	8
d100-2	.988	21	.987	10	.982	6	.984	8
d200-1	.965	6	.951	3	.951	3	.951	3
d200-2	.967	6	.954	3	.954	3	.954	3
d300-1	.983	16	.978	8	.966	4	.978	6
d300-2	.983	16	.979	8	.967	4	.979	6
d400-1	.978	20	.981	10	.971	6	.976	8
d400-2	.978	20	.981	10	.973	6	.978	8
d500-1	.972	9	.967	4	.965	3	.965	3
d500-2	.973	9	.967	4	.966	3	.966	3
d600-1	.980	11	.975	5	.943	3	.965	4
d600-2	.983	11	.977	5	.949	3	.968	4
d700-1	.978	11	.968	5	.938	3	.956	4
d700-2	.979	11	.966	5	.943	3	.960	4
d800-1	.983	17	.971	8	.976	5	.971	6
d800-2	.984	17	.975	8	.979	5	.974	6
d900-1	.975	7	.954	3	.954	3	.954	3
d900-2	.977	7	.958	3	.958	3	.958	3
e100	.984	14	.979	7	.968	4	.974	5
e200	.982	13	.965	6	.928	3	.962	5
e300	.970	13	.956	6	.911	3	.945	5
e400	.975	14	.965	7	.935	4	.948	5
e500	.990	20	.985	10	.975	6	.982	8
s100-1	.871	7	.908	3	.908	3	.908	3
s200-1	.929	8	.944	4	.898	3	.898	3
s300-1	.905	6	.916	3	.916	3	.916	3
s400-1	.881	5	.915	3	.915	3	.915	3
s500-1	.921	10	.927	5	.903	3	.917	4
s600-1	.880	5	.936	3	.936	3	.936	3
s700-1	.919	9	.904	4	.925	3	.925	3
s800-1	.918	6	.939	3	.939	3	.939	3

表2 カテゴリーごとの完全版と短縮版の得点の相関

Correlation between full and short versions			
Category	Short (Half)	Short (3/5)	Short (4/5)
b100	.978	.948	.964
b200	.961	.913	.932
b300	.960	.960	.960
b400	.960	.890	.927
b500	.934	.877	.913
b600	.933	.900	.925
b700	.985	.986	.982
b800	.969	.970	.972
d100-1	.980	.966	.973
d100-2	.981	.969	.975
d200-1	.966	.966	.966
d200-2	.979	.979	.979
d300-1	.979	.971	.971
d300-2	.980	.971	.972
d400-1	.956	.952	.954
d400-2	.954	.948	.953
d500-1	.971	.964	.964
d500-2	.972	.964	.964
d600-1	.977	.970	.978
d600-2	.979	.972	.980
d700-1	.980	.979	.981
d700-2	.974	.981	.982
d800-1	.956	.922	.957
d800-2	.964	.932	.963
d900-1	.972	.972	.972
d900-2	.973	.973	.973
e100	.968	.966	.966
e200	.970	.963	.971
e300	.983	.956	.974
e400	.970	.961	.965
e500	.992	.984	.991
s100-1	.884	.884	.884
s200-1	.928	.897	.897
s300-1	.892	.858	.858
s400-1	.896	.896	.896
s500-1	.925	.860	.937
s600-1	.899	.870	.870
s700-1	.908	.904	.904
s800-1	.934	.934	.934

付表 カテゴリーごとの因子分析結果の項目番号と因子負荷量
最後の行に、固有値とその寄与率が示される

Item	Loading	Item	Loading	Item	Loading	Item	Loading
b180	.875	b260	.883	b340	.937	b469	.908
b167	.850	b279	.875	b398	.931	b498	.892
b144	.843	b255	.865	b399	.914	b499	.887
b176	.840	b265	.829	b310	.892	b445	.866
b172	.838	b250	.826	b320	.884	b450	.855
b140	.833	b235	.820	b330	.873	b449	.845
b164	.827	b270	.819			b460	.844
b147	.821	b249	.818			b429	.810
b198	.817	b298	.818			b415	.797
b189	.816	b299	.813			b440	.792
b199	.808	b240	.805			b439	.784
b122	.795	b229	.792			b435	.777
b152	.786	b289	.788			b430	.728
b117	.774	b220	.767			b410	.724
b160	.771	b215	.753			b420	.665
b126	.766	b280	.714			b455	.662
b156	.755	b230	.653				
b130	.752	b210	.640				
b114	.749						
b139	.718						
b134	.598						
b110	.519						
13.88	63.07%	11.75	65.28%	5.10	84.96%	10.75	66.99%

付表(続き 1)

Item	Loading	Item	Loading	Item	Loading	Item	Loading
b550	.874	b679	.914	b735	.917	b849	.906
b598	.873	b699	.907	b780	.915	b830	.898
b559	.864	b698	.907	b740	.910	b898	.897
b599	.854	b670	.905	b760	.910	b899	.896
b520	.836	b660	.891	b798	.899	b869	.871
b539	.831	b640	.873	b750	.895	b840	.857
b540	.810	b650	.823	b789	.895	b820	.846
b535	.804	b630	.647	b799	.888	b810	.843
b515	.781	b639	.628	b720	.888	b860	.814
b555	.778	b610	.581	b755	.888	b850	.769
b530	.686	b620	.545	b730	.886		
b545	.682			b749	.884		
b510	.646			b715	.875		
b525	.598			b765	.860		
				b770	.857		
				b729	.853		
				b710	.838		
8.98	64.12%	7.28	66.19%	13.56	79.76%	7.66	76.63%

Item	Loading	Item	Loading	Item	Loading	Item	Loading
d1401	.935	d1402	.938	d2981	.929	d2982	.930
d1451	.932	d1452	.936	d2991	.918	d2102	.921
d1501	.931	d1502	.936	d2101	.915	d2992	.921
d1661	.930	d1552	.930	d2201	.914	d2202	.918
d1551	.926	d1662	.929	d2301	.901	d2302	.908
d1721	.922	d1722	.925	d2401	.872	d2402	.874
d1701	.922	d1702	.924				
d1351	.917	d1352	.918				
d1301	.911	d1302	.913				
d1591	.911	d1592	.912				
d1601	.891	d1602	.896				
d1631	.878	d1632	.886				
d1981	.878	d1982	.878				
d1791	.877	d1792	.878				
d1991	.874	d1992	.875				
d1751	.862	d1772	.869				
d1771	.860	d1752	.866				
d1201	.859	d1202	.858				
d1291	.855	d1292	.855				
d1101	.853	d1152	.853				
d1151	.850	d1102	.852				
17.00	80.95%	17.09	81.38%	5.13	85.43%	5.16	86.02%

付表(続き 2)

Item	Loading	Item	Loading	Item	Loading	Item	Loading
d3451	.939	d3452	.940	d4301	.920	d4352	.919
d3691	.930	d3692	.931	d4351	.916	d4302	.918
d3601	.924	d3602	.925	d4601	.907	d4602	.910
d3981	.923	d3982	.924	d4691	.897	d4692	.897
d3491	.923	d3492	.923	d4201	.894	d4202	.894
d3991	.921	d3992	.921	d4451	.891	d4102	.890
d3251	.916	d3352	.918	d4101	.888	d4552	.890
d3351	.913	d3252	.909	d4491	.886	d4452	.886
d3151	.908	d3152	.907	d4151	.886	d4152	.884
d3291	.899	d3292	.904	d4551	.885	d4492	.884
d3551	.895	d3552	.899	d4401	.880	d4292	.879
d3101	.838	d3102	.837	d4291	.880	d4402	.876
d3501	.829	d3502	.832	d4501	.873	d4502	.876
d3401	.818	d3302	.822	d4651	.869	d4652	.865
d3301	.815	d3402	.821	d4701	.735	d4702	.747
d3201	.808	d3202	.807	d4981	.719	d4982	.726
				d4991	.717	d4992	.724
				d4891	.707	d4892	.715
				d4801	.652	d4802	.663
				d4751	.645	d4752	.650
12.84	80.24%	12.87	80.45%	14.30	71.48%	14.36	71.79%

付表(続き 3)

Item	Loading	Item	Loading	Item	Loading	Item	Loading
d5401	.942	d5402	.943	d6981	.931	d6982	.936
d5101	.933	d5202	.934	d6691	.927	d6692	.931
d5201	.933	d5102	.934	d6401	.925	d6402	.931
d5301	.916	d5302	.918	d6991	.924	d6992	.930
d5981	.892	d5982	.891	d6491	.920	d6492	.927
d5991	.875	d5992	.878	d6501	.913	d6502	.924
d5501	.865	d5502	.863	d6301	.907	d6302	.919
d5601	.847	d5702	.848	d6601	.905	d6602	.916
d5701	.843	d5602	.847	d6201	.900	d6202	.913
				d6291	.898	d6292	.906
				d6101	.819	d6102	.844
7.40	82.21%	7.42	82.40%	9.22	83.79%	9.40	85.43%

Item	Loading	Item	Loading	Item	Loading	Item	Loading
d7501	.933	d7502	.939	d8401	.927	d8552	.930
d7401	.924	d7402	.927	d8551	.922	d8402	.929
d7791	.920	d7792	.923	d8451	.917	d8452	.926
d7981	.916	d7982	.920	d8501	.908	d8502	.915
d7991	.910	d7302	.914	d8651	.893	d8652	.901
d7301	.907	d7992	.914	d8251	.890	d8252	.899
d7101	.890	d7102	.893	d8601	.890	d8702	.892
d7291	.885	d7202	.891	d8701	.879	d8602	.890
d7201	.885	d7292	.890	d8791	.878	d8592	.888
d7701	.876	d7702	.888	d8981	.877	d8982	.886
d7601	.802	d7602	.818	d8591	.876	d8792	.886
				d8301	.875	d8302	.881
				d8391	.868	d8392	.875
				d8991	.863	d8992	.870
				d8101	.850	d8102	.856
				d8201	.847	d8202	.852
				d8151	.824	d8152	.826
9.02	82.02%	9.14	83.04%	13.44	79.06%	13.64	80.22%

付表(続き 4)

Item	Loading	Item	Loading	Item	Loading	Item	Loading
d9501	.952	d9502	.956	e150	.934	e260	.923
d9301	.949	d9302	.948	e130	.934	e210	.920
d9401	.932	d9402	.937	e155	.934	e220	.919
d9981	.913	d9982	.917	e160	.930	e215	.918
d9101	.910	d9102	.916	e135	.930	e225	.909
d9991	.905	d9992	.912	e145	.926	e240	.907
d9201	.905	d9202	.903	e125	.920	e245	.905
				e140	.909	e298	.900
				e198	.908	e250	.896
				e199	.902	e255	.896
				e120	.899	e299	.883
				e115	.879	e230	.882
				e165	.869	e235	.871
				e110	.805		
6.12	87.42%	6.16	87.94%	11.68	83.40%	10.77	82.85%

Item	Loading	Item	Loading	Item	Loading	Item	Loading
e325	.899	e460	.907	e555	.943	s1501	.911
e398	.898	e430	.901	e550	.943	s1401	.879
e330	.883	e435	.900	e540	.943	s1301	.878
e320	.881	e425	.892	e515	.942	s1991	.859
e340	.876	e465	.892	e510	.941	s1981	.820
e399	.875	e498	.888	e545	.939	s1201	.751
e335	.867	e420	.878	e535	.939	s1101	.474
e360	.867	e440	.872	e585	.937		
e315	.815	e499	.871	e525	.933		
e350	.813	e455	.860	e565	.932		
e355	.789	e445	.845	e590	.929		
e345	.788	e450	.802	e595	.928		
e310	.740	e415	.783	e520	.923		
		e410	.729	e530	.921		
				e560	.912		
				e598	.910		
				e599	.883		
				e575	.880		
				e580	.836		
				e570	.833		
9.60	73.81%	10.61	75.76%	17.00	85.02%	4.87	69.52%

付表(続き 5)

Item	Loading	Item	Loading	Item	Loading	Item	Loading
s2401	.910	s3401	.933	s4991	.957	s5201	.930
s2991	.892	s3301	.933	s4981	.943	s5991	.871
s2501	.864	s3101	.881	s4301	.734	s5101	.812
s2981	.854	s3201	.852	s4201	.693	s5981	.801
s2101	.831	s3981	.807	s4101	.642	s5501	.797
s2301	.781	s3991	.747			s5301	.782
s2601	.776					s5801	.727
s2201	.619					s5701	.725
						s5601	.710
						s5401	.513
5.69	71.12%	4.45	74.17%	3.53	70.67%	6.36	63.58%

Item	Loading	Item	Loading	Item	Loading
s6981	.952	s7701	.835	s8981	.946
s6991	.904	s7981	.827	s8991	.897
s6201	.889	s7991	.822	s8201	.890
s6301	.766	s7601	.773	s8401	.754
s6101	.571	s7301	.770	s8101	.740
		s7201	.762	s8301	.698
		s7401	.757		
		s7101	.703		
		s7501	.657		
3.69	73.74%	5.72	63.60%	4.38	73.06%

ICF (国際生活機能分類) 短縮版 (試作) & BPRS (簡易精神症状評価尺度)

会員番号 _____ (ハイフンなし半角数字4桁 例:0199)

病院名 _____

担当者名 _____ 連絡先TEL _____

患者ID _____ (半角英数)

実施日 _____ (入力例: 2015/1/10 または H27/1/10)

登録件数 0 件

Menu

ICF MENU

BPRS

患者ID毎処理

新規登録

読込

更新

削除

入力エリア

クリア

※続けて[読込]する場合は、一度[クリア]をします

データファイル
処理

データ取出

ICF（国際生活機能分類）

国際生活機能分類（ICF）とは、人間のあらゆる健康状態に関連した生活機能状態から、その人をとりまく社会制度や社会資源までをアルファベットと数字を組み合わせた方式で分類し、記述・表現をしようとするものである。ICFでは、人間の生活機能と障害について、「心身機能・身体構造」、「活動と参加」、それに影響を及ぼす「環境因子」について、合計約1500項目に分類している。

それぞれの項目は、アルファベットと数字を組み合わせた方式でコード化され、アルファベットは、「b」、「s」、「a」、「p」、「e」が用いられ、それぞれ「心身機能」、「身体構造」、「活動」、「参加」、「環境」を意味している。また、文字の後に続く数字は、左から1桁目が第1レベル（章番号）、それに続く3桁めまでが第2レベルの分類、4桁めまでが第3レベルの分類、5桁で第4レベルの分類と、だんだんと細分化された分類の構造となっている。

このICFは、世界保健機関（WHO）において、1980年に国際疾病分類（ICD）の補助として発表されたが、機能障害と社会的不利に関する分類であるWHO国際障害分類（ICIDH）の改訂版として、2001年5月ジュネーブで開催された第54回WHO総会において採択がなされたものである。

この改正により、国際障害分類の内容が大幅に見直しがなされ、ICFとして充実された。その最も大きな特徴は、単に心身機能の障害による生活機能の障害を分類するという考え方でなく、活動や社会参加、特に環境因子というところに大きく光を当てていこうとする点である。

例えば、同じレベルの機能障害があつたとしても、段差のない道路や、駅のエレベーターなどが整備されているバリアフリーの環境で生活すれば、そうした整備が遅れている環境で生活することと較べて、格段に活動や参加のレベルが向上することとなる。ICFにおいては、環境因子の中に「e120 個人的な屋内外の移動と交通のための製品と用具」などの項目が設定され、こうした環境を評価することができるように構成されている。このようなICFの考え方は、今後

はじめに

背景

ICF関連図

ICF概観

I 心身機能

II 身体構造

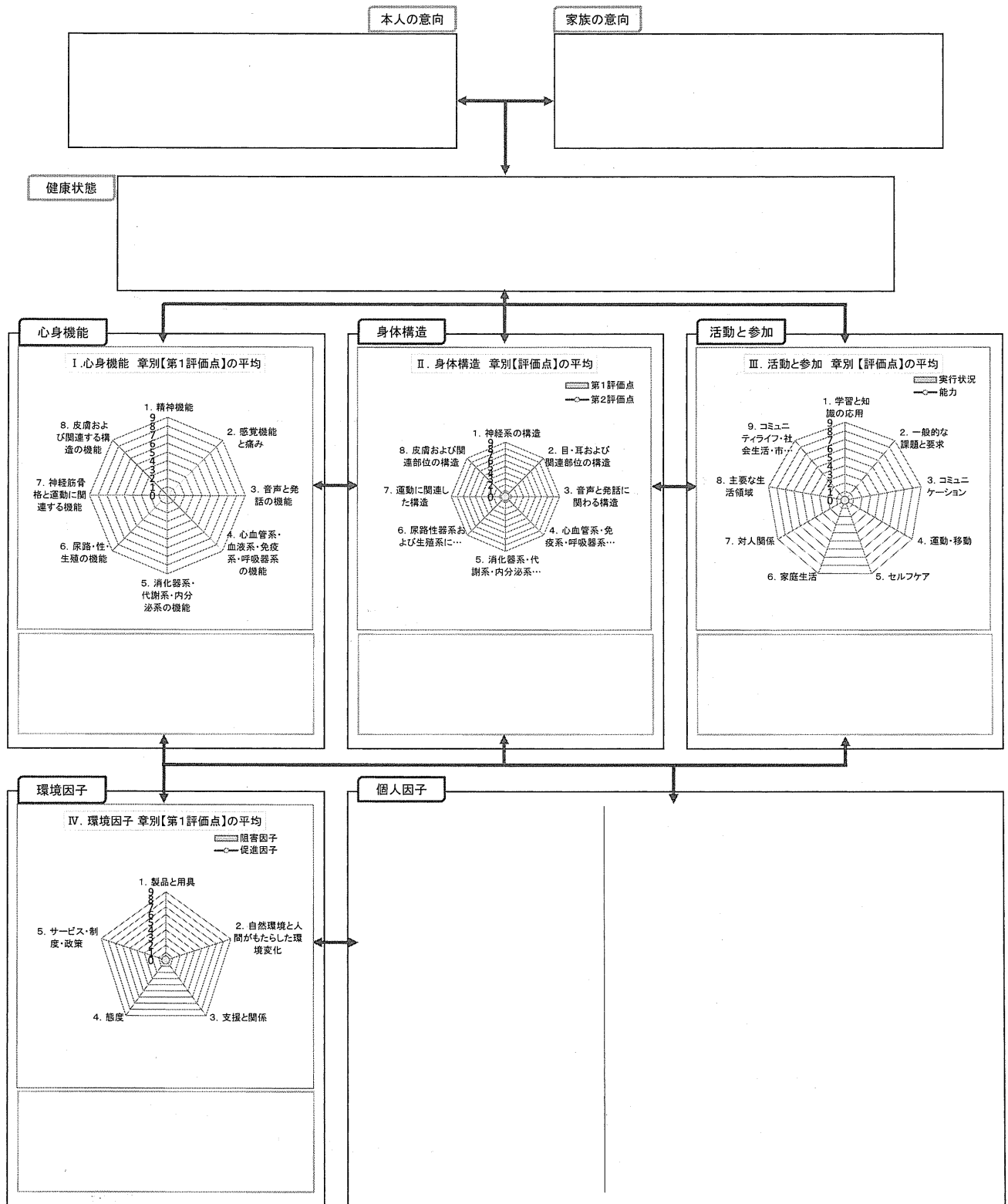
III 活動と参加

IV 環境因子

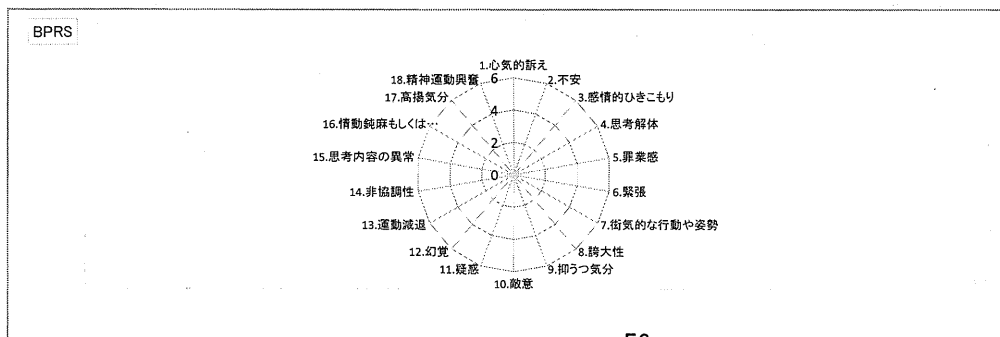
V 個人因子

コード一覧

グラフの設定: 全評価点を反映させる



IV. 環境因子 評価点 [9. 非該当]は、便宜上、阻害因子としてグラフ化しています



BPRS	合計	点
	値が6以上の個数	
		個

ICF概観

第1部 生活機能と障害					
I. 心身機能		領域: 心身機能	構成概念: 心身機能の変化(生理的)	肯定的側面: 機能的・構造的統合性	否定的側面: 機能障害(構造障害を含む)
1. 精神機能 [全般的精神機能] [個別的精神機能] 2. 感覚機能と痛み [視覚及び関連機能] [聴覚と前庭の機能] [その他の感覚機能] [痛み] 3. 音声と発話の機能 [音声と発話の機能] 4. 心血管系・血液系・免疫系・呼吸器系の機能 [心血管系の機能] [血液系と免疫系の機能] [呼吸器系の機能] [心血管系と呼吸器系の付加的機能と感覚] 5. 消化器系・代謝系・内分泌系の機能 [消化器系に関する機能] [代謝と内分泌系に関連する機能] 6. 尿路・性・生殖の機能 [尿路機能] [性と生殖の機能] 7. 神経筋骨格と運動に関連する機能 [関節と骨の機能] [筋の機能] [運動機能] 8. 皮膚および関連する構造的機能 [皮膚の機能] [毛と爪の機能]				生活機能	障害
II. 身体構造		領域: 身体構造	構成概念: 身体構造の変化(解剖学的)		
1. 神経系の構造 2. 目・耳および関連部位の構造 3. 音声と発話に関わる構造 4. 心血管系・免疫系・呼吸器系の構造 5. 消化器系・代謝系・内分泌系に関連した構造 6. 尿路性器系および生殖系に関連した構造 7. 運動に関連した構造 8. 皮膚および関連部位の構造					
III. 活動と参加		領域: 生活・人生領域(課題、行為)	能力: 標準的環境における課題の遂行 実行状況: 現在の環境における課題の遂行	肯定的側面: 活動参加	否定的側面: 活動制限 参加制約
1. 学習と知識の応用 [目的をもった感覚的経験] [基礎的学習] [知識の応用] 2. 一般的な課題と要求 [一般的な課題と要求] 3. コミュニケーション [コミュニケーションの理解] [コミュニケーションの表出] [会話ならびにコミュニケーション用具および技法の利用] 4. 運動・移動 [姿勢の変換と保持] [物の運搬・移動・操作] [歩行と移動] [交通機関や手段を利用した移動] 5. セルフケア [セルフケア] 6. 家庭生活 [必需品の入手] [家事] [家事用品の管理および他者への援助] 7. 対人関係 [一般的な対人関係] [特別な対人関係] 8. 主要な生活領域 [教育] [仕事と雇用] [経済生活] 9. コミュニティライフ・社会生活・市民生活 [コミュニティライフ・社会生活・市民生活]					
第2部 背景因子					
IV. 環境因子		領域: 生活機能と障害への外的影響	構成概念: 物的環境や社会的環境、人々に社会的な態度による環境の特徴が持つと促進的あるいは阻害的な影響力	肯定的側面: 促進因子	否定的側面: 阻害因子
1. 製品と用具 2. 自然環境と人間がもたらした環境変化 3. 支援と関係 4. 態度 5. サービス・制度・政策					
V. 個人因子		領域: 生活機能と障害への内的影響	構成概念: 個人的な特徴の影響力	/	
01. 生年月 02. 年齢 03. 性別 04. 主病名 05. 合併症 06. 障害者手帳 07. 障害程度区分 08. 経済(収入) 09. 既往歴 10. 生活歴 11. 現病歴 12. 入院歴 13. その他					